

教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民	地理B	5	高2年1, 5組

使用教科書	副教材
東京書籍「地理B」 帝国書院「新詳高等地図」	帝国書院「世界の諸地域NOW2017」 二宮書店「データブックオブザワールド vol.30 : 2018」

1. 学習の目標

- ・系統的内容を学ぶことにより、世界の様々な地域の特色や共通点を結びつけて理解する。
- ・地誌的内容を学習することにより、現代世界の地理的認識を養うとともに、多角的な視野を培う。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
世界の様々な地域の特徴を学び、現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求する。	現代世界の地理的事象から課題を見出し、地域性をふまえて多角的・多面的に考察するとともに、国際社会の変化について考察する。	地図や統計など地域に関する諸資料を扱い、地理的事象を追求する技能(読解力・表現方法)を身につける。	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄やその追求の方法を理解し、知識を身につける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	【村落・都市】 ・集落の形成 ・大都市圏の形成 ・都市機能の分散 ・様々な都市問題	・世界の村落・都市の成立要因・分類を学ぶ。 ・都市の機能が経済の発展とともに変化したことを学び、どのような影響を周囲に与えるか理解する。	定期試験 (中間・期末) 授業態度 (意欲・態度・発言など) などをもとに総合的に評価する。
	5	【開発・環境問題】 ・酸性雨 ・地球温暖化 ・オゾン層の破壊 ・砂漠化 ・熱帯林の破壊	・世界的視野からみた環境問題・エネルギー問題には、多様な地域があることを理解する。 ・環境問題とエネルギー問題との間には相互に関連の深い問題も多く、地域ごとに複雑な状況であることを認識させ、解決には国際協力が必要で緊急性もあることを理解させる。	
	6	【国家と領域】 ・国家の三要素 ・様々な国境	・国家の成立に必要な三要素など基本的知識を踏まえ、領土問題が発生する背景とその要因について理解する。	
		【国家群】 ・国際連合 ・ASEAN・EU・NAFTA など	・国家群を世界的視野から地域性をふまえて理解するとともに、国家間の結びつきを地理的に考察する意義を学ぶ。	
2	7	【人口・人口問題】 ・人口構成 ・世界の人口問題	・世界の人口分布が偏っていることを理解し、要因を自然環境や社会環境の結びつきから考察する。	
	9	【人種・民族】 ・世界の人種と民族 ・言語と宗教 ・民族・領土問題	・人口問題を大きく世界的にみていくと、人口の急増と高齢化の二つにわけられることを理解させ、それぞれ地域性があることを理解させる。・人類集団の分類のひとつである「人種」「民族」とは何か、また現代の国家を構成する人類の多様な背景を考察する。 ・世界的視野・地域的視野から種々の民族・領土問題があることを学び、背景・現状の共通性と相違性について理解する。	定期試験 (中間・期末) 授業態度 (意欲・態度・発言など) などをもとに総合的に評価する。

3	10	【世界地誌】 ・北アメリカ地誌 ・南アメリカ地誌	・北アメリカを、位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び、世界に大きな影響を与える農牧業・工業の分布や成立背景について、多角的に考察する。 ・南アメリカを、位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び、著しい経済発展と今後の課題について考察する。	定期試験 (学年末) 授業態度 (意欲・態度・発言など) などをもとに総合的に 評価する。
	11	・オセアニア地誌 ・アフリカ地誌 ・ヨーロッパ地誌	・オセアニアを位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び、特に日本とオーストラリアの貿易を中心に太平洋諸国の現状と課題を考える。 ・アフリカを、位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び、特にアフリカで発生している多くの政治・経済的問題の多くは、植民地分割が原因になっていることを理解する。 ・ヨーロッパを位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び、EUの拡大・発展が周辺地域に与える影響を考察する。	
	12	・西アジア地誌	・西アジアを、位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び、石油に依存する経済状況と問題点を考察する。	
	1	・南アジア地誌	・南アジアを、位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び、特にインドの産業を中心に日本や世界とのつながりを考察する。	
	2	・東南アジア地誌	・東南アジアを、位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び、ASEANの結成と拡大をもとに東南アジア地域の経済発展を考察する。	
	3	・東アジア地誌	・東アジアを、位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び、日本との密接な関係をもとに世界とのつながりを考察する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。